楽々メカいっぱいの快適ゆったりベビーカー

コンビメルンポップ

ME-399取扱説明書

安全基準A型
(2ヵ月～2才まで)

目次

- メルンポップのご使用にあたって……1
- 各部のなまえ……2
- 組み立て方及び使い方……3
- 組み立て方
- ハンドルの切り替え方……4
- キャスターの使い方
- リクライニングの使い方
- カゴの使い方……5
- 折りたたみ方……6
- その他の取り扱い方……7
- 幌の使い方
- ガードのはずし方……7
- 足受けの収納
- シートの取りはずし方……8
- ブレーキの使い方
- サイドパッドの取り扱い方
- シートベルトの調整
- 洗濯について……9
- ご使用上の注意
- 品質保証書……10
- 日常のお手入れ方法
- SGマークについて

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また開梱後も大切に保存してください。

コンビメルンポップのご使用にあたって

コンビの赤ちゃん工学より生まれた、※シェル構造体のコンビメルンポップは、赤ちゃんの体の特徴、発育状況を、心身両面より研究し、開発されたベビーカーです。赤ちゃんの居住性・安全性はもとより、お使いになるお母さんにとっての操作のしやすさ、日常生活での便利性を、最新の感覚で十分配慮いたしました。赤ちゃんのすこやかな成長とともに、ながくご愛用いただきますよう、お願い申しあげます。

（※シェル構造体とは、背部と座部とを従来の、シートでささえる方式と異なり、本体を特殊な形状で一体化した新構造です。そのため、設計の自由性、居住空間の拡大、シート素材の自由選択などが可能になりました。）

コンビメルンポップの特長

赤ちゃんのために

1）居住性は？

- メルンポップは、クッション性の良い綿をたっぷり使用して赤ちゃんにソフトな座りごこちです。
- ４段階リクライニングで、ベッドに寝た姿勢が保て、２ヵ月の赤ちゃんにも安心です。

2）快適性は？

- ハンドルの方向切り替えで、お母さんの顔を見たり、外の風景を見たりできます。
- シートは、汗かきの赤ちゃんのため、表地は綿100%素材を使用しました。
- シートは、簡単に取りはずせ水洗いできるため、いつも清潔な状態で使用できます。

3）安全性は？

- コンビ独自の振動吸収機構と大型タイヤで、悪路でも、小さな赤ちゃんへの影響を極力少なくしました。
- 外部からの突然の衝撃や振動は、大型のガードやシートと幌で、しっかりガードします。
- ブレーキは確実性の高いダブルロック方式を採用しました。
- シートベルトは、赤ちゃんの成長に合わせて調整できるので、赤ちゃんを優しく、しっかりホールドします。

お母さんのために

1）操作性は？

- ベビーカーの開閉、ハンドルの方向切り替えが、片手ワンタッチでできる手元操作レバーが付きました。しかも指を離すと、レバーが自動的にロックされる安心設計です。
- リクライニングは片手操作。赤ちゃんを抱いたまま操作ができます。
- ワンタッチ操作のバックルなので、簡単に赤ちゃんをベビーカーに乗せ降ろしができます。

2）移動には？

- キャスター機構の車輪により、方向転換がスムーズにできます。

3）お買物は？

- ジャンボカゴで従来のお買物の不便さを解消しました。またカゴを使用しないときは、コンパクトに収納できます。
  お買物を入れたまま、カゴを取りはずして持ち運びができます。
- 赤ちゃんを乗せて、フルリクライニングしたときも、背もたれを起こさずに大きな荷物を入れられます。

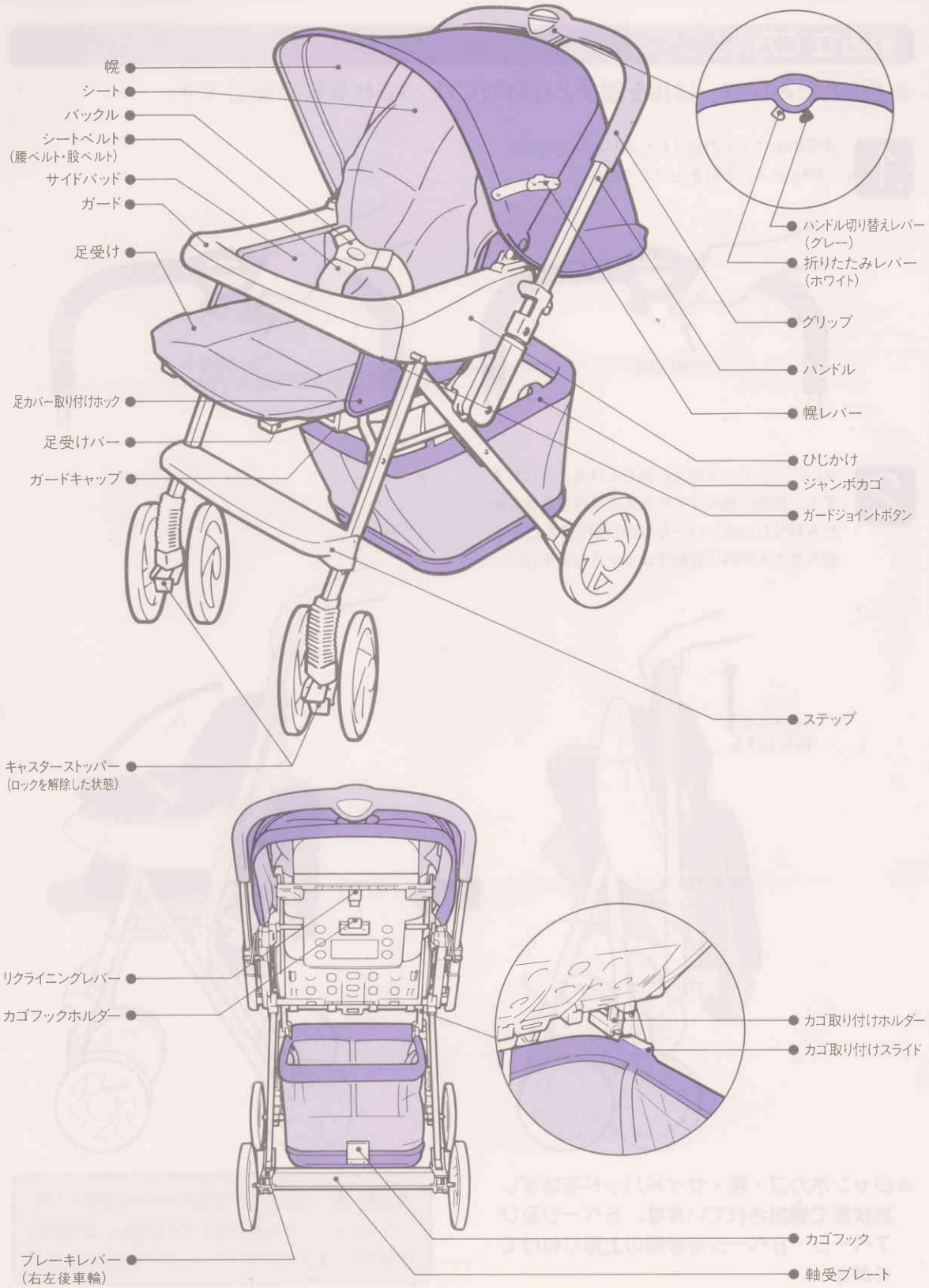
4）収納性は？

- コンパクトに折りたため、自立しますので収納場所をとりません。

5）お洗濯は？

- シートが簡単にはずれ、洗濯機で水洗いができるのはメルンポップだけの特長です。またサイドパッド、幌も簡単にはずして洗えますので、汚れたとき大変便利です。

各部のなまえ

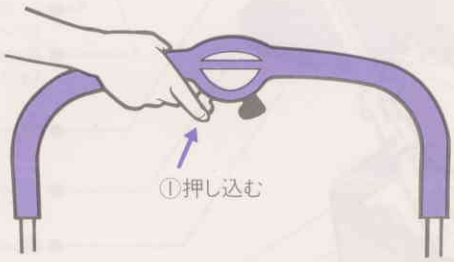

幌
シート
バックル
シートベルト
(腰ベルト・股ベルト)
サイドパッド
ガード
足受け
足カバー取り付けホック
足受けバー
ガードキャップ
キャスターストッパー
(ロックを解除した状態)
ハンドル切り替えレバー
(グレー)
折りたたみレバー
(ホワイト)
グリップ
ハンドル
幌レバー
ひじかけ
ジャンボカゴ
ガードジョイントボタン
ステップ
リクライニングレバー
カゴフックホルダー
カゴ取り付けホルダー
カゴ取り付けスライド
カゴフック
ブレーキレバー
(右左後車輪)
軸受プレート

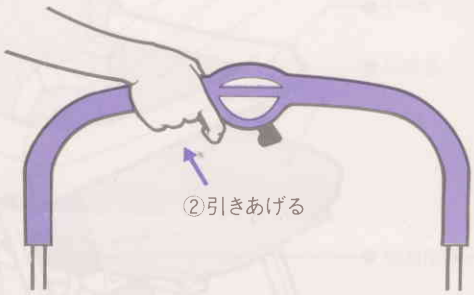
組み立て方及び使い方

組み立て方

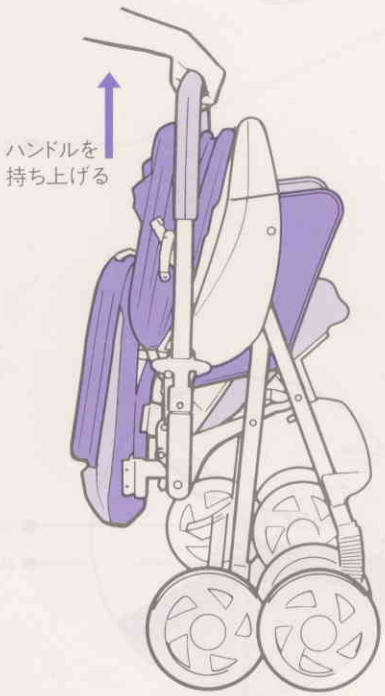
※折りたたみレバーは指を離すと自動的にロックされる安心説計です。

1 手元のホワイトの折りたたみレバーを内側に①押し込み、②引き上げてください。





2 次に、ハンドルを真上に持ち上げるようにしますと、自然に組み立てられます。(ひらきはじめたら折りたたみレバーを指から離してください。組み立てと同時に自動でロックされます。)

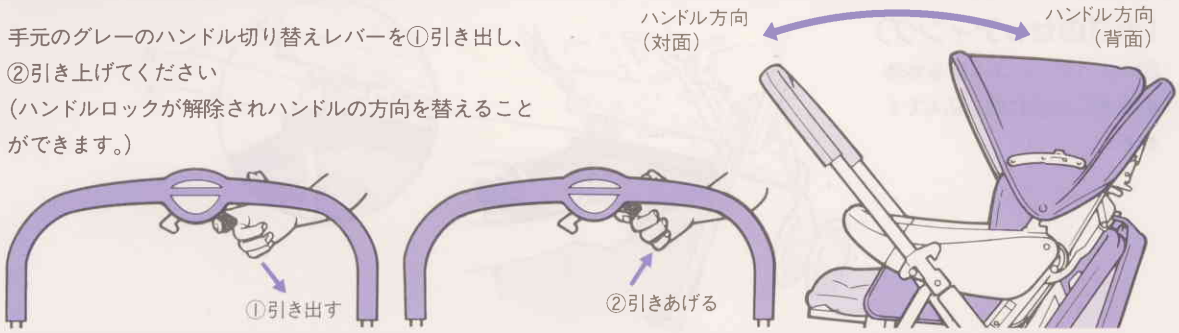


※ジャンボカゴ・幌・サイドパッドをはずした状態で梱包されています。5ページ及び7ページ・8ページを参照の上取り付けてください。

ご・注・意 走行中は、手元のレバーを引き上げないようにレバーから指を離してください。誤操作の原因となります。

ハンドルの切り替え方

手元のグレーのハンドル切り替えレバーを①引き出し、②引き上げてください
（ハンドルロックが解除されハンドルの方向を替えることができます。）



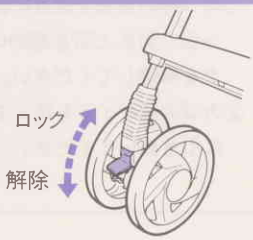
ご・注・意 ①「ハンドル切り替えレバー」は、切り替えの時以外握らないでください。誤操作の原因となります。
②ハンドル切換時に「折りたたみレバー（ホワイト）」には、さわらないでください。

キャスターの使い方（前車輪が回転して、方向転換が楽になります）

●背面押しのとき

〔前輪を回転させる場合〕

キャスターストッパーを下にさげロックを解除します。



〔前輪を回転させない場合〕

進行方向

進行方向にわずかに前進させるとキャスターストッパーが前方になります。この位置でロックしてください。

前側でロック

●対面押しのとき

〔キャスターを固定する場合〕

進行方向

進行方向にわずかに前進させるとキャスターストッパーが後方になります。この位置でロックしてください。

後側でロック

ご・注・意 キャスターロックの位置を間違えて使用しますと、大変押しづらくなります。ハンドルの方向（背面・対面）にあった正しい位置でご使用ください。

リクライニングの使い方

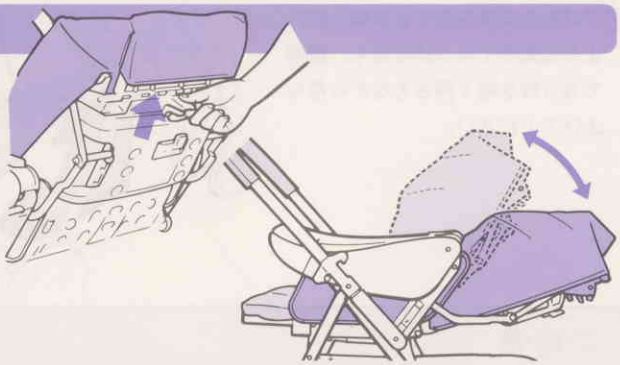
赤ちゃんの首のすわる（3～4ヵ月頃）まではフルリクライニングにしてお使いください。

〔背を倒すとき〕

背部中央のリクライニングレバーを指先で握り、そのまま背を倒してください。アームがスライドして170°まで倒れます。中間位置で止めたい場合はリクライニングレバーから指をはなせば自動的に中間位置で固定されます。

〔背を立てるとき〕

リクライニングレバーを指先で握り、そのまま背を起こしてください。



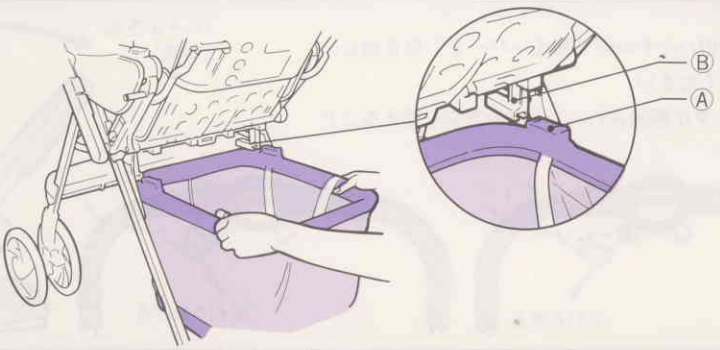
ご・注・意 ベビーカーを折りたたむ場合は必ずリクライニング角度をいちばん立てた位置に戻してください。

組み立て方及び使い方

ジャンボカゴの使い方

〔カゴのセッティング〕

図のように、カゴⒶ部を本体のⒷ部に完全に差し込んでください。



〔カゴを使用しないとき〕

カゴフックを本体背部のカゴフックホルダーにセットしてください。

〔カゴをはずすとき〕

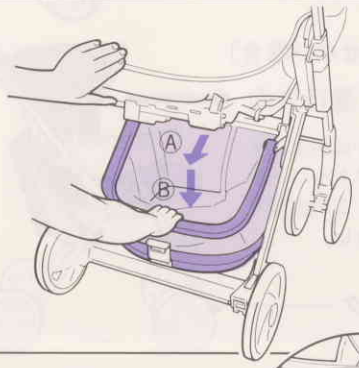
カゴを開いた状態で

①カゴ枠の左右を交互に後方へ強く引き上図Ⓑ部のロックを解除してください。

②カゴの両サイドを持って後に引きぬいてください。

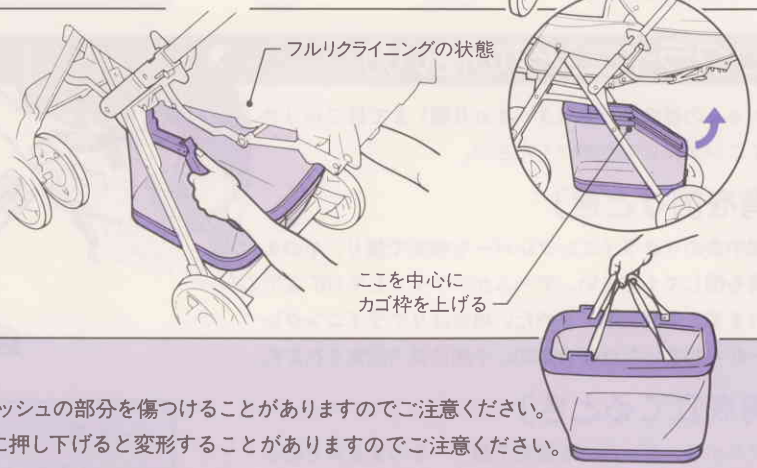
〔フルリクライニング時のカゴの使い方〕

背もたれを倒して、フルリクライニングにしたときは、カゴの上部を開くことで、フルリクライニングの状態のまま荷物の出し入れができます。



①カゴを開くときは、図のように本体をささえて操作してください。Ⓐカゴ枠の中央部を手前に軽く引きながら、Ⓑカゴ枠を下げてください。

②下げたカゴ枠を戻すときは、図のように両手でカゴ枠を持ち、親指でカゴ枠を軽く押さえながら持ち上げてください。



ご・注・意

- カゴに角のとがった物を載せるとメッシュの部分を傷つけることがありますのでご注意ください。
- カゴ枠に重量物を載せたり、無理に押し下げると変形することがありますのでご注意ください。
- カゴには10kgまでの荷物を入れられますが、縦長の重量物をカゴに載せる場合は、横にねかせてご使用ください。

折りたたみ方

1 シ ートがリクライニングの位置にある場合は、背をいちばん立てた位置に戻してください。

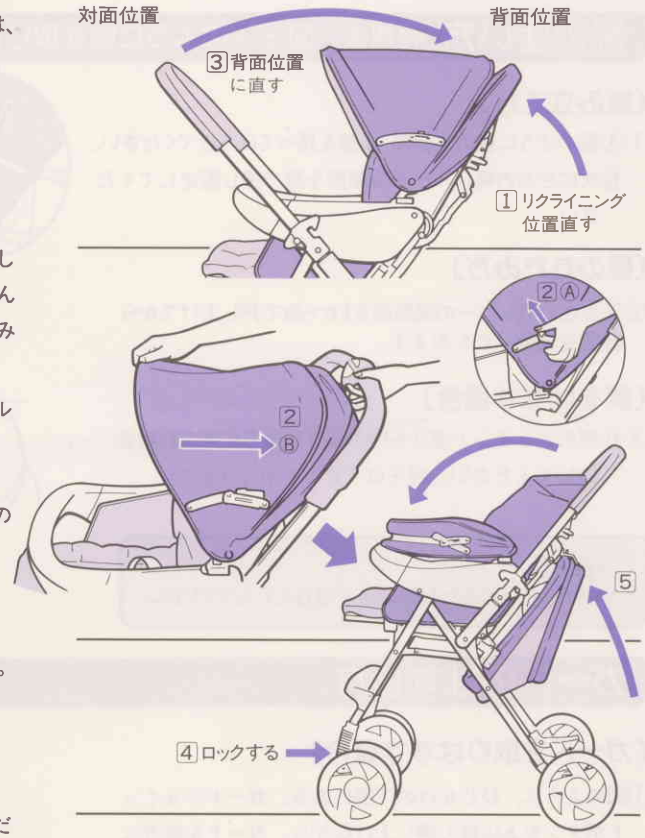
2 Ⓐ左右の幌レバーの関節部を下から指で押し上げてからⒷ幌を後部にたたみます。たたんだ幌をガード側に倒しておくと、折りたたみやすくなります。

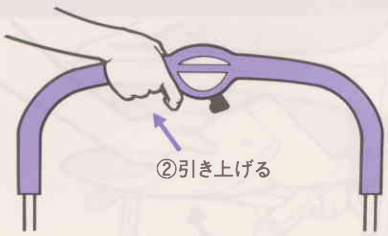
3 ハンドルが対面位置にある場合は、ハンドルを背面位置にしてください。

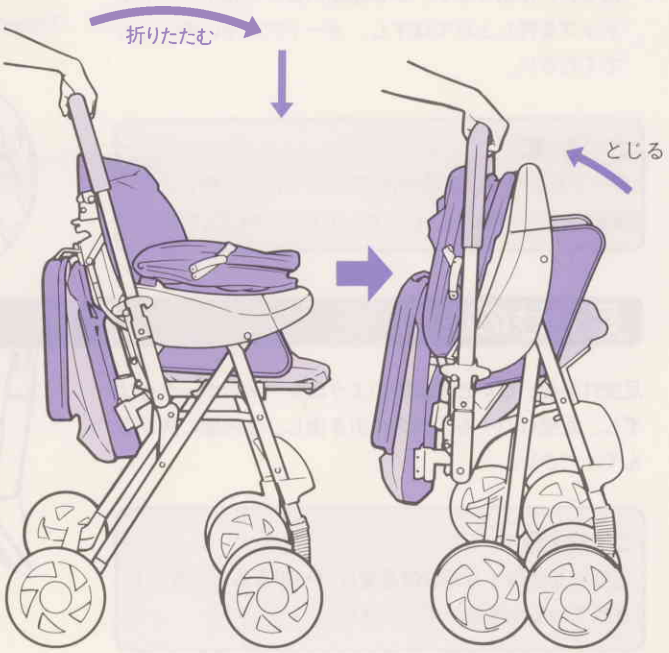
4 車輪のキャスターストッパーを、ステップのある前方向でロックしてください。

5 ジャンボカゴを、本体背面に戻してください。

6 白いレバーを①押し込み、②引き上げてください。ハンドルを下図のように軽く持ち上げながら矢印方向に力を加えると自然に折りたためます。折りたたみはじめたら、レバーから指をはなしてください。







その他の取り扱い方

幌の使い方（開梱後、図③Ⓐのように幌を取り付けてください。）

〔組み立て方〕

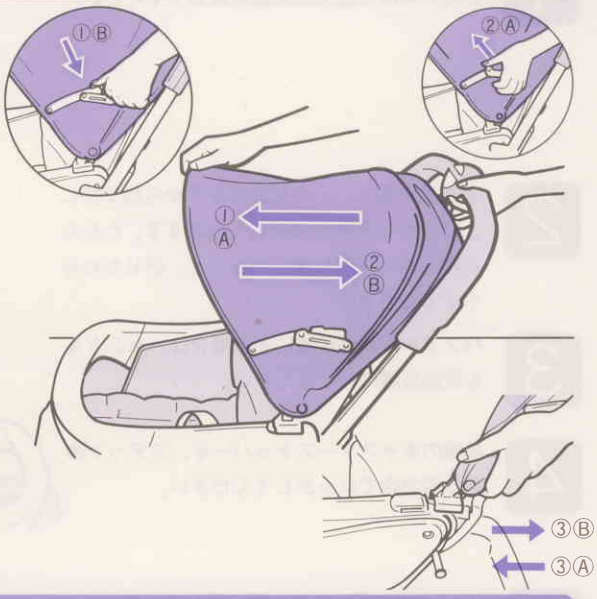
①Ⓐ図のように幌の先端部、後部を持ってひろげてください。
Ⓑ次に左右の幌レバーの関節部を指で押し固定してください。

〔幌のたたみ方〕

②Ⓐ左右の幌レバーの関節部を下から指で押し上げてからⒷ幌を後部にたたみます。

〔幌をはずす場合〕

③Ⓑ幌のジョイント部分を図のように後ろに水平に引き抜いてください。幌をはずすことができます。



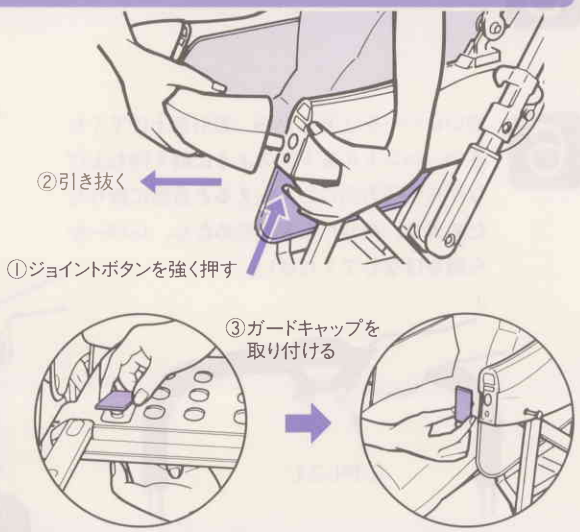
ご・注・意
ベビーカーを折りたたむ時は必ず幌はたたんでください。

ガードのはずし方

〔ガードを取りはずす場合〕

①図のように、ひじかけの下側にある、ガードジョイントボタンを上に強く押し上げながら、ガードを前方に引き抜いてください。

②座面のシートをあげると、ガードキャップ（ガード穴用フタ）があります。本体座面の裏から指でガードキャップを押し上げてはずし、ガード穴の中に押し込んでください。



ご・注・意
ガードを取り付ける場合は、突起を下にして押しこみ、確実にセットされたか、ひっぱってチェックしてください。

足受けの収納

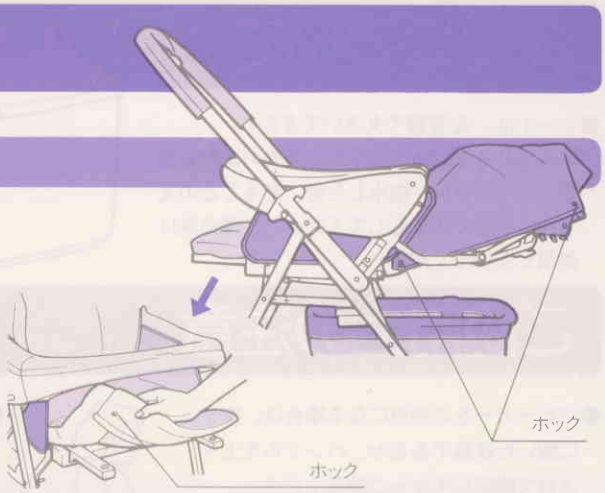
足受けを使わないときは図のようにシートのホックをはずし、足受けバーを①前方に引き出し、②内側に折り込んでください。

ご・注・意
足受けを使用する場合は足受けバーがきちんとセットされているか確認してください。

シートの取りはずし方

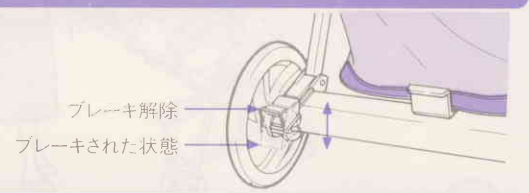
図のようにフルリクライニング状態にして、シートの左右3ヵ所ずつのホックをはずし股、腰ベルトをシート穴からぬいて、次にシートを真上に引き抜くと、シートが本体よりはずれます。

ご・注・意 シートを本体にセットする場合、ホックを確実にかけたかチェックしてください。



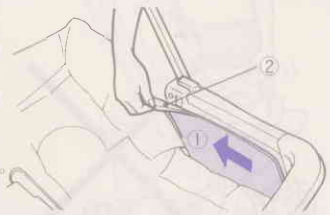
ブレーキの使い方

ベビーカーから離れるときは必ずブレーキをかけてください。後車輪内側左右のブレーキレバーを下に倒した後ベビーカーを前後に軽く動かしてブレーキが正しくかかっているか確認してください。

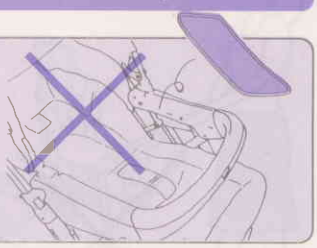


サイドパッドの取り扱い方（開梱後、図のように取り付けてください。）

サイドパッドを取り付ける場合は、リクライニングをいちばん倒した角度にして、①白い突起をひじかけ内側前部の穴に差し込み、水平にうしろにスライドさせ、②後部のホックをはめてください。はずす場合は、上記の逆の手順です。

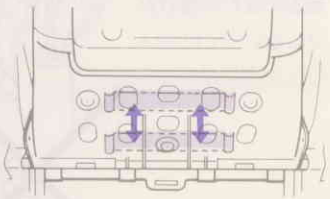


ご・注・意
サイドパッドをはずしたまま、赤ちゃんをベビーカーに乗せることは危険ですのでおやめください。



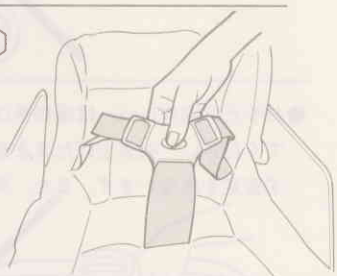
シートベルト（股ベルト・腰ベルト）の調整

シートベルトの長さは、赤ちゃんの成長に合わせて調整できます。
腰ベルトは、右図のように本体背部のベルト穴位置を変更できます。

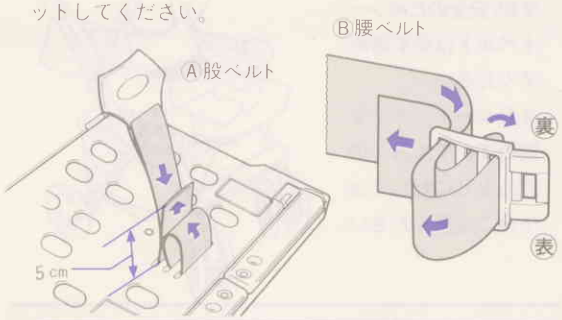


〔バックルのはずし方〕

図のように持ってプレスボタンを強く押し、バックルを前に押し出すようにすると、簡単にはずすことができます。



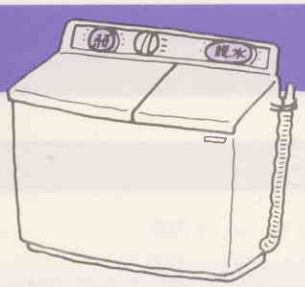
万一、股ベルトをはずした場合や、腰ベルトから差し込みバックルをはずした場合は、図Ⓐ Ⓑのように確実にセットしてください。



ご・注・意 股ベルトは、端末まで5㎝以上余裕を持って、図Ⓐのようにセットしてください。

ご・注・意 赤ちゃんは、1才前後から活発に動くようになります。赤ちゃんを適切にホールドする為にベルトは、大人の親指が入る程度のすき間を残し、しっかりと締めてください。

洗濯について



●シートは、洗濯機で丸洗いできます。水流調整を㊦にセットして、通常の洗剤を使用してください。脱水した後、形をととのえてから日陰で平干ししてください。漂白剤は使用しないでください。

●幌、サイドパッド、足カバー等はブラシ洗いしてください。水洗いした後、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。

ご使用上の注意

●ベビーカーをご使用になる場合は、完全に開いた状態であるか、ハンドルを上下させて確認してからご使用ください。

●歩道等の段を上がる時はハンドル方向を対面ではなく背面にしてご使用ください。

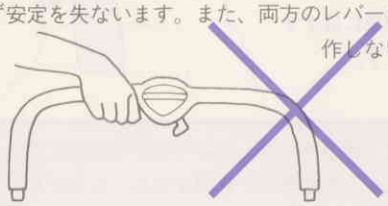
●ガードが付いていますが、安全のためシートベルトは必ず締めてください。
またシートベルトを締めていても万一の立ち上りに対しては十分ご注意ください。

●坂道等危険な場所はもちろん、路上でも、乳幼児を乗せたまま離れることは絶対に避けてください。また乳幼児を乗せたときや空車であっても坂道等で、ブレーキを過信しないようにご注意ください。

●空車であっても危険な場所での放置は絶対に避けてください。

●２人乗りや、中で赤ちゃんを立たせることは危険です。またシート以外のところに乗せないでください。

●乳幼児を乗せたまま持ち上げて移動しないでください。階段等で手を滑らせると大変危険です。

●幌やハンドルの上に物をのせたり、掛けたりしないでください。

●お手元の操作レバーは操作後は必ずレバーから指を離してください。引き上げたまま走行しますと、ロックされず安定を失ないます。また、両方のレバーを同時には操作しないでください。